



「トントンまなびたい」 指導スタンダード 「トントンの森 秋バージョン」



1 ねらい

- ・自分の力で最後まで頑張る。 ・友達と仲良く活動する。 ・ドロドロ、グチャグチャになって遊ぶ。
- ・自然の中で擬音語を見付ける。「カサカサ・くるくる・ふわふわ・ざらざら・つやつや・ぎざぎざ・すべすべ・ちくちく等」
- ・五感を生かして、おもしろい、きれい、ふしぎをたくさん見付ける。

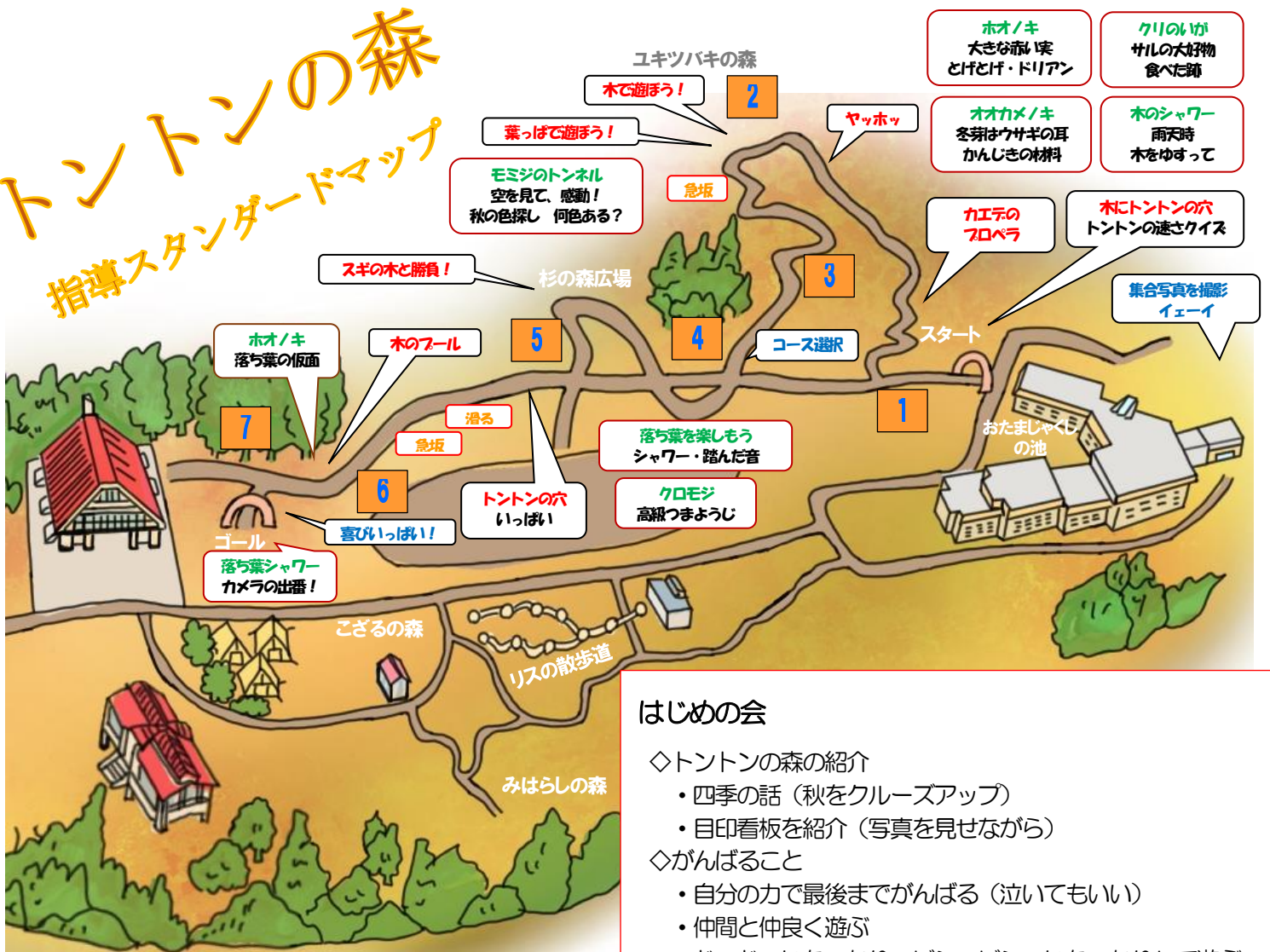
2 展開

※場所(森に表示された看板付近)ごとに分類

時間	○数字…子供の活動(予想される子供の姿) ●追加指導事項	・指導者の支援 ◇安全配慮事項
5分	<p>1 トントンを知る。トントンの森の特徴的な木を知る。 学ぶゾーン</p> <p>① キツツキのドラミングのスピードのクイズ(3択)に答える。 正解「手でたたけないぐらい速い」</p> <p>② オオカメノキを知る。→葉はカメの甲羅の形 冬芽はウサギの耳の形(11月)。かんじきの材料になる。</p> <p>③ ホオノキは、大きな赤い実がなる(とげとげ)(10月)</p> <p>● クリのイガがたくさん落ちている。→猿が食べた跡(10月)</p>	<p>・ ドラミングの速さを手で表現する。ミュージックプレーヤで実際の音を聞く。</p> <p>・ ウサギとカメの童話を思い起こす。</p> <p>・ 葉の大きさと顔の大きさを比べる。</p> <p>◇ 森での配慮事項を再確認する。 「走らない、害虫に気を付ける、帽子・長袖着用等」</p>
10分	<p>2 木や葉っぱでおもいっきり遊ぶ。 遊ぶ・感じるゾーン</p> <p>① 木にぶら下がる、登る、滑る。【ユキツバキの森・猿滑りの木】</p> <p>② カエデの種のプロペラで遊ぶ。(10月)</p> <p>③ 葉の血管(葉脈)を透かして見る。葉の笛や鉄砲で遊ぶ。</p> <p>● 「ヤッホッ」と叫ぶ。【2番看板付近・来拝山に向かって】</p>	<p>◇ 木からの落下を防止する。</p> <p>・ 無駄に採取しない。命を感じる。</p> <p>・ 身近な植物での遊びを伝えてもよい。 (例) オオバコの相撲等</p>
10分	<p>3 急な下り坂や上り坂を歩く。 挑戦ゾーン</p> <p>① 低い姿勢で、手や尻をつきながら、ゆっくり下る。</p> <p>② 草や木につかまりながら、急な坂道を上る。</p> <p>③ 空を見ながら、モミジのトンネルをくぐる。(10月・11月)</p> <p>● チシマザサを知る。→葉は、ますのすしに使用。</p>	<p>◇ 事前(始めの会)で、前後への転び方(頭を守る)を練習する。</p> <p>・ 「自然に助けてもらおう！」</p> <p>・ 秋の色探しを行う。森に何色の色があるか数えよう。</p>
5分	<p>4 木のよい匂いを感じる。木の強さを感じる。 遊ぶ・感じるゾーン</p> <p>① ヤマモミジの木を揺らす。→紅葉した葉が落ちる。(10月)</p> <p>② 落ち葉を踏んだ際のカサカサする音を楽しんで歩く。(10月)</p> <p>③ クロモジの木のにおいを感じる。→茶道の際の爪楊枝で使用。</p> <p>● 杉の木と相撲をとる。【杉の森広場】</p> <p>● 杉の森で遊ぶ。→木に抱き着く。かくれんぼ。</p> <p>● 自分の行きたいコースを選択して進む。【4番看板】</p>	<p>・ 五感を通して、落ち葉で遊ぶおもしろさを伝える。</p> <p>・ 枝の採取した部分が匂いが強い。</p> <p>・ 生活で使用されていることを伝える。</p> <p>・ 子供全員で杉の木を押し倒してみる。</p> <p>◇ 落下した枝の跳ね返りに注意。</p> <p>◇ どちらに進んでも合流する。</p>
5分	<p>5 危険な道(丸太・粘土質の道・急な下り坂)を歩く。 挑戦ゾーン</p> <p>① 丸太の上を落ちないように気を付けて渡る。</p> <p>② 粘土質の道を尻で滑ったり、ゆっくり歩いたりする。</p> <p>③ 低い姿勢で、手や尻をつきながら、ゆっくり下る。</p> <p>● キツツキの穴を見付ける。【5番看板付近】</p>	<p>・ 「落ちると熊に食べられるよ！」</p> <p>・ 汚れても挑戦するよさを認める。</p> <p>◇ 周囲に石があるので、ゆっくり歩く。</p>
10分	<p>6 森で一番の難所を超える。 挑戦・応援ゾーン</p> <p>① 木の根っこプールを乗り越える。→水の中に入る。ふちを歩く。</p> <p>② 右側が崖の道を、崖に落ちないように通る。</p> <p>③ 難所を乗り越えようと頑張る友達を応援する。【応援の坂】</p> <p>④ ホオノキの落ち葉に穴を開けて、仮面をつくる。(10月)</p>	<p>・ 汚れても挑戦するよさを認める。</p> <p>◇ 崖に落ちないように、左側を歩く。</p> <p>◇ 終了した子供の安全管理も大切。</p>
5分	<p>7 みんなでゴールの喜びを分かち合う。 喜びゾーン</p> <p>① 7番看板を見つけ、ゴールが近いことをみんなに知らせる。</p> <p>② ゴールした喜びを、叫んで表現する、ハイタッチで共有する。</p> <p>③ 拾った落ち葉を一斉に空に投げ上げ、落ち葉シャワーを浴びる。</p>	<p>・ 子供どうしの声かけを大切にする。</p> <p>・ 子供の頑張りを大いに認める。</p> <p>・ 落ちてくる瞬間がシャッターチャンス</p>

トントンの森

指導スタンダードマップ



はじめの会

- ◇トントンの森の紹介
 - ・四季の話 (秋をクルーズアップ)
 - ・目印看板を紹介 (写真を見せながら)
- ◇がんばること
 - ・自分の力で最後までがんばる (泣いてもいい)
 - ・仲間と仲良く遊ぶ
 - ・ドロドロになったり、ビシャビシャになったりして遊ぶ
- ◇約束
 - ・指導者の前には行かない
 - ・学びを後ろのお友達に伝えよう
- ◇セーフティトーク
 - ・転び方の実践 (前・後ろ) ⇒ 『頭』を守る
 - ・坂道では手を使うこと
 - ・下り坂ではお尻を付いておることを伝える
 - ・ハチ等の害虫について (時期によっては伝える)
 - ・服装・靴の確認

バリエーション

指導スタンダード以外にも、いろいろなバリエーションが！
何度も何度も「トントンの森を楽しもう」！

- ◇生き物をさがす
- ◇葉っぱをさがす
- ◇キノコをさがす
- ◇実をさがす
- ◇色をさがす
- ◇みんなで探検
- ◇グループで探検
- ◇ペアで探検
- ◇1人で探検

◇夜に探検 新しい発見がいっぱい！

振り返り

どんな発見をしたかな？ どんな思いになったかな？

- ・見つけたことをたくさん話そう。
- ・今はどんな気持ちかな。
- ・約束は守れたかな。
- ・自分ががんばったこと、お友達と一緒にがんばったことをお互いに褒めあおう。
- ・自然に遊んでもらえたこと、連れて来てくれた先生、一緒に楽しく遊んだ仲間に「ありがとう」
- ・また来てね

子供は「発見の王様」

◇見つけたことをその場で具体的にほめてあげよう！

指導者「秋の綺麗な葉っぱの色をたくさん見つけたね」

子供は「感動の王様」※感動=強い印象を受けて深く心を動かすこと

◇子供が感動したことを共感しよう！ 身近な物に置き換えても！

子供「この葉っぱの形がとてもおもしろいな」

指導者「本当だ、おもしろいな。〇〇みたいだね」

子供は「不思議の王様」

◇子供の疑問を大切にしよう！

→ 年齢や理解力にあわせて言葉で、内容を伝えよう！

子供「どうして葉っぱが落ちるのかな？」

指導者「冬になると寒くてみんなと一緒に元気がなくなるね」

→ 時にはアニミズムで伝えよう！

子供「どうしてこんなにきれいな花が咲くのかな？」

指導者「花の妖精が、かわいいみんなを待っていたんだよ」

「大人は子供の共感王」になろう！